

幕別町4団体 合同視察研修

平成28年12月5, 6日の2日間、「移動村づくり大学幕別同窓会」「アカデミー21の会」「農村アカデミー」「ゆとりみらい21推進協議会」の4団体で合同視察研修が行われ、当農協からは組合員3名と職員2名が参加しました。視察場所は札幌・千歳方面で、株式会社タカキタ、ホクレン野菜センター、カルビー千歳工場等を見学しました。



株式会社タカキタは北海道に札幌工場・豊富・北見・中標津・帯広の5カ所に営業所があります。現在は牧草やトウモロコシ、稲わらなど粗飼料の収穫や梱包などを行う「ロールベアラ」や「ラップマシーン」、給餌作業機といった畜産酪農現場で活躍する作業機をメインに肥料や土壌改良剤の散布を担う「コンポキャスト」などの土づくり作業機、雪深い地域で活躍する除雪作業機など、農業現場での作業効率改善に寄与する農業機械作りを進めています。新製品の「パワープッシュマニア」は、スイングビータシステムとスマートボディを取り入れ、堆肥の積込み、移動をスムーズに行えるよう改良が加えられました。同じく新製品の「ツインブロードキャスト」はゴム製コンベアベルトの搬送速度をトラクタの走行速度と連動させる事によって、定量均一散布を可能としました。

ホクレン野菜センターでは、差別化商品の開発を行っており、「安心・安全」「価格」「見た目」「食味」「栄養価」「時期」「簡便性」「環境・エコ」等の差別化要因にこだわっています。特に重視している点は「食味」と「時期」で、CA貯蔵（空気調整貯蔵）によって外気を遮断して異音にする事で青果物の呼吸を最小限に抑制し、新鮮さを長期間保つ方法を行っています。

カルビー千歳工場では、作業エリアを製品ごとに分けて、「一般作業エリア」「準清潔エリア」「清潔エリア」の3エリアがゾーニングと呼ばれる方法で分かれています。X線や磁石による点検が何度か行われ、金属片については選別作業までにはほぼ100%取り除く事が出来ます。完成した商品は生産者が誰なのか、収穫時期はいつなのかといった情報を全て管理しています。

今回の視察研修参加者は皆率先して施設・工場の担当者の方に質問しており、充実した視察研修を終える事ができました。

女性部 生涯学習

12月12日に農協2階会議室にて、参加者11名による籠作りが行われました。針も糸も使わずに作れるクラフトバンドを使い作りました。パッと見は天然素材の様に見え、素朴な雰囲気があります。また、紙製とは思えないほどの強度を持っています。

作り方は簡単で、テープを交互に編み込んでいき、籠の底面から作っていきます。底面が出来たら洗濯ばさみで仮止めしながら側面を編んでいき、持ち手を付けて完成という流れです。

皆さん楽しみながら、オリジナルの色と模様の籠を作成していました。



銀鈴会 冬期研修



12月15、16日の日程で幕別町パークホテル悠湯館にて銀鈴会の冬期研修が行われ、15名が出席しました。

研修内容は『心がけて認知症予防』講演会で介護老人保健施設あかしやから講師を招き、認知症について学びました。また、幕別町教育委員会からトレーニング指導員を招き、頭と体の体操を行いました。

夜には総会・懇親会が行われ、28年度の活動内容を振り返ると共に、来年度事業についても話し合われました。その後の懇親会では会員同士の親睦をより深める事が出来ました。

女性部友の会 サークル活動

12月17日、スズランボウルにて女性部友の会のサークル活動が行われ、10名の部員が参加し、交流を深めました。

女性部友の会会長の挨拶で始まったボウリング大会は1ゲーム行われ、終始和気藹々の中プレーが進み、互いに競い合ったり、教え合ったりと皆さん楽しんでいました。

その後場所を移した懇親会では、今後の友の会の活動内容や農業情勢といった話が出る中、和やかに東の間のひと時を過ごす事が出来ました。



さくらんぼの会 年賀状作り

12月22日、農協2階会議室にてさくらんぼの会による年賀状作りが行われました。

毎年、組合員家庭で80歳以上の方に手作り年賀状を出しており、今年も「押し花」で年賀状を作りました。一枚一枚丁寧に花を並べる作業は根気のいる作業で、皆さん手元に集中しながら、気持ちを込めて作成しました。

完成した年賀状はどれも色鮮やかで素敵なものが出来上がりました。



女性部友の会 スポーツレク



1月24日、札幌スポーツセンターにて女性部友の会のスポーツレクが行われました。10名の部員が参加し、ミニバレーボールで爽やかな汗を流しました。

1ゲーム毎にチームを換えて、多くの部員とプレー出来る様に進められました。初めはミスプレーが多かったものの、徐々に息が合うようになり、笑いが絶えないスポーツレクとなりました。

その後、グランヴィリオホテルに場所を移して昼食会とビンゴゲームを行い、部員同士の親睦を一層深めました。

青年部・職員交流会 ボウリング大会



1月28日に青年部と職員との交流会がスズランボウルで開催されました。毎年行われているこの交流会は、青年部と若手職員との交流の機会を多く持つ為に行われており、今年は25名が参加しました。青年部と職員が混合となるグループで、2ゲームのボウリングを通して交流を深めました。



青年部長の挨拶と始球式で幕を開けたボウリング大会は序盤から剛速球やカーブボールが飛び出す好勝負が繰り広げられました。グループ内で投げ方のアドバイスをしたり、スコアの近い人と互いに競い合ったり、ストライクやスペアが出る度に盛り上がりを見せ、笑顔の絶えない賑やかな雰囲気の中で大会を終える事が出来ました。

その後場所を移した懇親会では、普段なかなか話す機会の無い青年部と職員の親睦を図る良い機会となり、有意義なひと時を過ごす事が出来ました。

料理サークル 2月例会

2月8日に料理サークルの「2月例会」が百年記念ホールにて開催されました。今回のメイン料理は『きんぴらコロッケ』と『ピロシキ』作りでした。

きんぴらコロッケは濃く味付けしたきんぴらをポテトコロッケに混ぜ合わせて作り、牛蒡と人参の食感を楽しめるようにしました。ピロシキは豚挽肉、春雨、玉葱、蓮根、タケノコ、生椎茸等を包み、油で揚げて作りました。



どれも味・出来栄え共に大満足のいく料理となり、ボリュームがあつてとても美味しいと、皆さん話していました。

女性部 つどいの会

女性部恒例「つどいの会」が2月13日に農協2階会議室で開催され、11名の部員が参加しました。午前『樹脂粘土でひな人形作り』午後『エコモップ作り』を行い、共に女性部長に講師を務めて頂きました。

ひな人形作りでは皆さんで猫の内裏雛を作成し、最後には色とりどりの着物を着た内裏雛が勢揃いしました。エコモップ作りでは水洗いをしたら何度でも使えるモップを毛糸で作りました。

講習会后には十勝川温泉観月苑にて新年交流会が行われ、28年度の女性部活動を振り返りながら、29年度事業に期待を膨らませ、懇親を深めました。



地区別懇談会 5カ所で開催

本組合の地区別懇談会が2月14, 17, 20日の3日間、5会場で開かれ、61人の組合員が出席（出席率33.89%）されました。

本年度事業においては、第28回JA北海道大会で決議された『自主的改革・前進を図るとともに、「力強い農業と豊かな魅力ある農村の実現」のため、「農業所得増大」、「担い手の確保育成」、「魅力ある地域づくり」を推進すること』を当組合でも協同組合運動の理念に基づき、実践に向けて進めていく基本方針が掲げられました。また、28年度の収支見込み、各部の平成29年度事業計画がそれぞれ担当部長から説明されました。

平成29年度は第8次中長期計画の初年度となることから、農業振興計画、農協運営計画についての説明があり、計画の実践に向けて関係団体、指導機関と連携しながら役職員一丸となって取組み、組合員や地域住民の皆様信頼される、利用される、満足されるJAづくりを進めていく事を確認しました。



年金無料相談会

2月15日に札内農協2階会議室にて、年金相談会が開催されました。

毎年2月に当農協で行われている相談会では、専門講師の方をお呼びして、これから年金をお受取りになる方の疑問や相談にお答えして頂いています。

1組30分程度の時間で個別に話が聞ける良い機会という事もあり、毎年定員数の方が参加されています。

今年は8名の方が参加し、「請求書の書き方は?」「いつから年金はもらえるの?」「手続きの詳しい方法は?」といった自身の持つ年金に関する疑問を講師の方と共に解決していました。



青年部管外視察研修 札幌・苫小牧方面

2月15、16日の2日間に渡り、当農協青年部の管外視察研修が札幌・苫小牧方面にて開催され、8名の部員が参加しました。視察は『日本ニューホランド苫小牧デポ』『雪印メグミルク札幌工場』の2カ所へ行って来ました。

日本ニューホランドは国内に55カ所の営業拠点を置いており、地域に密着した活動を続けています。商品はトラクター、コンバインハーベスター、フォーレイジハーベスターなどを製造しており、日本全国へ販売しています。部員一同、トラクターへ試乗したり、館内で会社についての説明を受けたりと、興味を持ちながら見学しました。

雪印メグミルク札幌工場では乳製品製造の機器を見学し、製造工程や改良と進歩の歴史を学ぶことができました。また、牧牛場の様子、創立者達の写真、新聞広告などの酪農・乳製品の歴史を語る史料が展示されており、安全・安心をもとにどのような改革が行われてきたのかを知る事ができました。2日間を通し、充実した視察研修だったと、部員の皆さんは振り返りました。

